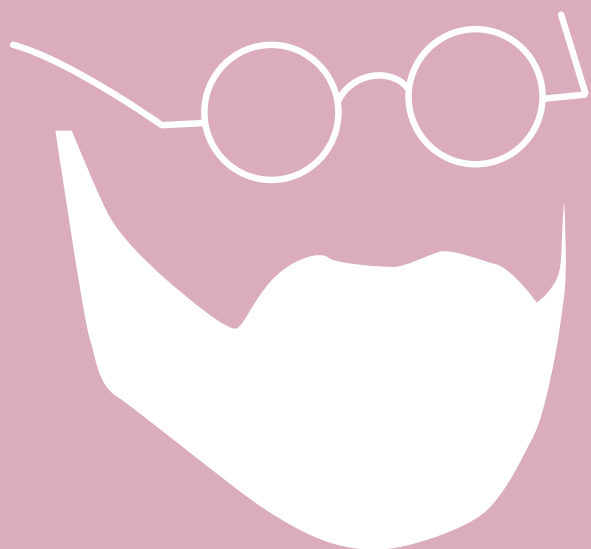


京都対象関係論  
セミナー

2023



# フロイトを読む

## 対象関係の視点から

精神分析の始まりとして、フロイトは何度も読み直されます。対象関係の視界の中でフロイトの著作はどのように読まれていくのでしょうか。このシリーズの最後はフロイトの事例と日本の精神分析家によるエッセイを読みたいと思います。

### 概要

- 対象 : 精神分析または精神分析的実践に携わっている臨床家  
(日本精神分析学会に入会していること、学生の身分を終えていること)
- 内容 : 論文抄読 + 事例検討
- 日時 : 原則第2日曜日 13:00-17:00
- 形態 : 京都駅周辺会場とオンラインのハイブリッド形式
- 会費 : 10回 30,000円
- 主催 : 工藤晋平(名古屋大学)・西村佐彩子(京都教育大学)
- アドバイザー : 北山修(日本精神分析協会精神分析的精神療法家センター長・北山研究所)

## 論文抄読 (●は第2日曜日ではありません)

4/9

あるヒステリー分析の断片 (全集6)

『あるヒステリー患者の分析の断片』—「症例ドラ」(読本1)

5/14

6/25

ある5歳男児の恐怖症の分析 (全集10)

『ある五歳男児の恐怖症分析』—「ハンス症例」(読本1)

7/9

9/10

W. イェンゼン著『グラディーヴァ』における妄想と夢 (全集9)

強迫神経症の一症例についての見解 (全集10)

10/8

11/12

『強迫神経症の一症例に関する考察』—「ねずみ男の症例」(読本1)

自伝的に記述されたパラノイアの一症例に関する精神分析的考察  
(全集11)

12/17

1/14

ある幼児期神経症の病歴より (全集14)

『ある幼児期神経症の病歴より』—精神分析の百科事典 (読本2)

2/11

全集：フロイト全集、読本：現代フロイト読本

進め方：あらかじめ司会と発表者を決め、発表者より論文の紹介をしていただきながら、論文から何を学べるかをディスカッションします。参加者が会話に入りやすい形にしたいと思います。事例検討についても、同じように発表者と司会を決めたいと思います。

## お申し込み

必要事項をご記入の上、下記のメールアドレス宛にお申し込みください。受け付けを行い、お手続きについてご連絡します。また、セミナーでは事例提供者の募集もしています。事例を提供できる方はメールにその旨をご記入ください。申し込み人数が多い場合には事例提供可能な方を優先したうえで先着順とさせていただきます。

送信先 : sec@ksort.jp

タイトル : 参加申し込み

内容 : ①お名前、②ご所属、③職種 (医師、臨床心理士など)、④ご住所、⑤事例提供希望

締切 : 2023年3月31日 (木)